



柳沢中学校通信

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和7年2月14日第10号

一月往ぬる二月逃げる三月去る



『一月往ぬる二月逃げる三月去る』という慣用句があります。『1月は行く、2月は逃げる、3月は去る』と言われています。お正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを表現しています。1日の元日から始まって初詣、年始参り、七草がゆ、鏡開き、どんど焼き、小正月などの年始行事が続き、あっという間に1月が過ぎたと感じます。2月は他の月に比べ、日数が少ないので、節分、立春、建国記念日、天皇誕生日などがあり、一年で最も短い月なので、逃げる様に2月は終わってしまうと表現されます。

そして、3月はひな祭り、彼岸、春分などがある一方で、卒業式や移動の多い季節となり、引越などでも忙しい月となり、気がつくと4月になっていることが多いものです。

計画をキチンと立てて『逃げる2月』をしっかりと捕まえて、計画的にやるべきことを着々と実行していきましょう。

2月3日は、「立春」でした。暦の上では春が始まっています。立春の前の日が、節分となっていますが、皆さんは豆まきをしましたか？

給食のメニューに、栄養士さんのご配慮で「手作り福豆」が出てそのご配慮に感謝の気持ちがこみあげました。こういった工夫がありがたいです。

2月は冬の真っ只中ですが、春の訪れも感じられる時期です。昨日は、「春一番」が吹きましたね。

「三寒四温」という言葉があります。これは、3日間寒い日が続いた後に4日間温かい日が続き段々と暖かい春に向かって行くという意味です。今の時期は、寒暖の差が激しいため、体調を崩しやすい時期でもあります。特に服装に気を付けることが重要です。天気予報をチェックして、寒い日は、重ね着をして温かくし、風邪を引かないように気を付けましょう。

また、十分な睡眠と栄養を心がけて、自分の体調管理をしっかり徹底してください。

「冬来たりなば春遠からじ」という言葉もあります。これは、厳しい冬が来ることで、必ず春が近づいているという意味です。2月は、そんな春の訪れを感じながらも、春を楽しみに待ちながら、4月からの生活に向けて準備をしていきましょう。



西東京市内
作品展の様子
全作品を掲載で
きずに申し訳
ありません。



一生懸命に頑張った先に見えた景色は・・・

副校長 小西 貴也

初日の朝、雨も心配されましたが、雨も降らず、学校で出発式を行いました。不安半分、楽しみ半分のような顔つきでスキー移動教室が始まりました。初日の天気は曇り。時折雪も混じり決して良い天気ではありませんでしたが、初めてスキーを行う生徒が多い中、励まし合いながら滑る・止まるを繰り返していました。2日目、3日目も天候には恵まれませんでした、技術の上達とともに生徒の顔つきは晴れ晴れしてきたようでした。閉講式で「楽しかった人」の問いかけに多くの生徒が手を挙げていて、インストラクターもとても喜んでいました。

また、ケガで保健室を利用した生徒が一人もいませんでした。3日間の集団生活では、自分の思い通りにならないこともあったと思いますが、実行委員や室長を中心にしおりを見て行動でき、わがままな人はいませんでした。食事の片づけでは食事係だけでなく、ほかの生徒も下膳を手伝っていました。

悪天候のため、菅平の素晴らしい景色を見ることはできませんでしたが、それぞれの生徒が、「頑張ったその先の景色」を見ることができたのではないのでしょうか。

この頑張りを、2年生の校外学習や3年生の修学旅行に繋げてください。保護者の皆さま、朝早くの弁当準備などご協力いただきありがとうございました。



入学予定者保護者説明会

本校の教育課程や生活の決まりの説明、生徒会役員による学校生活の流れを説明いたしました。

部活動は、教員の異動のため、年度契約による開設で、運営の厳しい現状をお伝えしました。



学校では教えないお金の勉強!?金融教育

自分のライフプランを考える場面があり、1年後、3年後、5年後までは考えやすいようですが、その後のことになると難しいようでした。こうなっていくといいなというイメージをもつことは大切なことです。進路学習にもつながっていくといいというねらいもあり、金融教育を実施してみました。

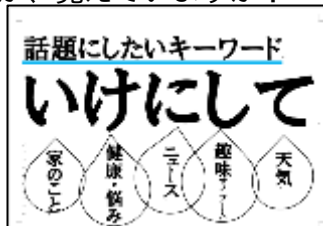


2月のキーワードは「対話」

2月のキーワードは「対話」です。今までも、「対話」にちなんで、コミュニケーションの取り組み方法についてお話してきました。

以前、話題に困ったら「いけにして」というのを教えたことがあります、覚えていますか？

今回は、コミュニケーションの方法を3つ紹介します。



1つ目は、質問をしてみることです。積極的に質問をすることで、相手の考えや気持ちを知ることができます。といっても、相手を質問攻めにしないようにあったかモードで「どう思う？」や「なぜそう考えるの？」といった簡単な質問から始めてみてください。相手も自分の意見を話しやすくなります。例えば、友達と話しているときに、興味をもって質問することで、より深い対話が生まれるでしょう。

2つ目は、相手の話をしっかり聞くことです。対話は話すことだけではなく、相手の話をじっくりと聞くことも非常に重要です。相手が何を言っているのか、どんな気持ちで話しているのかを理解しようとする姿勢が大切です。相手の目を見てうなずいたり、感想を返したりするアクションを入れると、相手は自分の話を大切にされていると感じるでしょう。これが信頼関係を築く第一歩になります。

3つ目は、自分の気持ちを素直に伝えることです。自分の気持ちを言語化することを意識してみてください。

対話では、自分の意見や感情を素直に伝えることも大切です。自分の考えを正直に話すことで、相手も心を開きやすくなり、より良いコミュニケーションにつながります。今の素直な中学生の時期だからこそ、意識すれば、素直に自分の気持ちを言語化することが練習しやすいかもしれません。わがままと素直は違うので、要注意です。

皆さんの対話がより豊かになり、知り合いや友達、家族との関係もがより深まるといいです。自分自身も成長し、他人を理解する力もついていくことでしょう。

今年度のまとめの時期とともにクラス解散の日も近づいてきています。ぜひ、残りの毎日を大切に過ごしてほしいです。

